

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 総合シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
事業の目標・概要	<p>劇場用長編映画「鬼ガール！！」が民間主導により製作が進められていることから、市としてもこの機会を逃すことなく連携してシティプロモーションを行い、本市への愛着や誇りを醸成することにより、市民の定住促進及び域内消費の拡大を図る。</p> <p>また、同映画の広告宣伝にあわせて、市外からの本市の認知度向上やイメージアップを図ることにより、移住促進及び観光客の誘致につなげる。</p>

【数値目標及び実績】

項目		事業開始前	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市に愛着と誇りを感じている市民の割合	目標	—	50	51	52
	実績	42	39	38	
市に住み続けたいと感じている市民の割合	目標	—	55	55	56
	実績	47	46	41	
社会動態の転入者／転出者の率	目標	—	87	90	91
	実績	78	77	77	
令和2年度の指標の状況及び事業への反映の考え方		<p>「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえて作成する計画（地域再生計画）に位置付ける必要があります。</p> <p>本事業は、同戦略内の【基本目標2 新しいひとの流れをつくる】内の事業として位置付けており、KPIも当該項目内の数値目標を準用しています。</p> <p>ただし、当該数値目標は総合戦略の目標として非常に大きな視点から設定されているほか、社会情勢等によって大きく変動する指標でもあるため、評価シートでは当該数値目標に加え、参考指標を設定し、評価を実施しています。</p>			

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 評価シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業①	映画を活用したシティプロモーション事業	担当課 総合政策部政策企画課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和2年度実施事業	<p>映画「鬼ガール！！」と連動して、市条例「河内長野市鬼でまちおこし条例」を制定し、市を挙げたシティプロモーションを実施するとともに、映画のプロモーション等の機会も活用してイベント、メディア展開を実施しました。実施事項は以下の通りです。</p> <p>(1)本市のPR ①市条例「河内長野市鬼でまちおこし条例」の制定 ②イベント等によるPR ③メディア等を利用したPR ④WEB等でのPR ⑤その他</p> <p>(2)(1)に付随して必要となる物品の作成 上記において必要となるチラシ・パンフレット・コンテンツ等の作成しました。</p> <p>※上記は、主に「奥河内ムービー・プロジェクト実行委員会」への委託により実施しました。詳細は、別添資料(令和2年度 河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 業務内容概要)をご参照ください。 ※企業版ふるさと納税のみを財源とし、市の一般財源からは一切支出しないという本事業の性質上、実施内容については寄附者と十分に調整し、寄附者の意向を最大限反映したうえで、かつ市として最大限の効果が得られる内容を検討し、実施しています。</p>	<p>■関連動画(映画出演俳優の所属事務所、大手メディアなどが配信する公式動画に限る)再生回数計:25万回以上</p> <p>■映画「鬼ガール！！」上映館数:全国50館</p> <p>■地元映画館(TOHOシネマズ泉北)における動員数:1万人超</p>	11,500
		(合計)	11,500

担当者評価	【令和2年度評価】	【令和2年度の評価内容】
	③効果があった	<p>民間予算で実施されている映画制作と連動し、かつ全財源を企業版ふるさと納税による歳入により賄ったことにより、市の一般財源から一切支出せずとも映画出演者やスタッフの協力を得ることができ、かつ映画の劇場公開との相乗効果を最大限発揮できる事業内容とできたことで、市関連事業としてはかつてないほどの拡散力を持った市のPRとなった。</p> <p>特に、条例制定や映画公開記念イベントとの連携はメディア等からの注目も高く、NHKをはじめとするメディアでも特集され、河内長野市や「奥河内」の名称、市内のスポットなどが再三公共の電波で放送され、市内はもちろん、市外の多くの方々にも届く発信となった。</p> <p>さらに、これらの動きにより市内事業者等でも映画と連携して地域を活性化しようという機運が醸成され、映画と関連したメニュー、商品の開発や企画が行われるなど、民間の自主的な地域活性化の取り組みを喚起することにも繋がるなど、非常に大きな効果を得た。</p> <p>一方で、これらの動きがKPIの達成に直接的に寄与するには至っていないため、上記の評価とした。</p>

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	<p>映画上映期間、さらには時限的に制定していた条例の期間も終了しており、今後映画という資源やそれによって生まれた地域活性の機運の維持が課題である。</p> <p>そのため、映画の制作に携わった市商店連合会、青年会議所、観光協会などの市内団体、ほか多くの市民などとの関係を維持し、引き続き映画を資源として活用していく。</p>

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	<p>取組事業が事業の目標・KPI達成するために</p> <p>①妥当である</p> <p>②概ね妥当である</p> <p>③検討を要する</p>	